

企画展「手塚治虫のメッセージ：人と動物、共に生きるために」の開催結果について

展覧会名	企画展「手塚治虫のメッセージ：人と動物、共に生きるために」
会 期	令和元年7月13日（土）～8月25日（日）〔会期中無休 44日間〕
会 場	鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室
主 催	鳥取県立博物館・新日本海新聞社 / 企画協力 手塚プロダクション

1 事業概要

手塚プロダクションの協力を得て、初の試みとして自然科学とマンガをコラボレーションさせた展覧会を実施した。人との関わりの中で消えていった動物や、今まさに地球で起きている問題を、手塚治虫の作品とともに紹介し、これからの人と動物の関係について考えるきっかけを提供した。

会場には、竹島で射殺されたニホンアシカ「リャンコ大王」の剥製や、絶滅したニホンオオカミの頭骨をはじめ、鳥取県の絶滅種などを展示。手塚治虫の作品は、人と動物の関係を扱った7作品を紹介。原画は5作品 110枚を展示し、「ころすけの橋」「ロロの旅路」については全ページの原画を世界初展示した。「山太郎かえる」は、アニメを会期中くり返し放映した。また「ジャングル大帝 劇場版」の上映会も行った。

人と動物の関係を考えるため、当館のオオサンショウウオを主人公にしたオリジナルマンガ「オオサンショウウオの恋」を制作し、会場で紹介するとともに販売も行った。

2 開催結果

(1) 企画展入場者数 8,841人（目標8,000人）

自然科学とマンガのコラボという初めての企画であり、入場者数が予測しにくかったが、目標の入場者数は超えることができた。本展開催の成果と課題としては以下の点があげられる。

- 来館者アンケートでは、よかったと回答された方が100%（大変よかった76%・よかった24%）であり、本展への共感や感動のメッセージが多数寄せられた【（3）主な反響を参照】。
- 県外者、自然に関心のない方々の来館が多く、新しい客層を開拓できた。これは手塚治虫やマンガのファンの来館によると思われ、広く鳥取県立博物館を知ってもらうことに繋がった。
- 一方で、従来と比較して、家族連れや子供の来館が少なかった。理由として、自然や動物の展覧会と思われなかったことが考えられ、集客戦略として課題が残った。
- 博物館同業者や教育関係者などの企画や教育をする立場の方々から高い評価を得た。これは集客優先のイベント的企画でなく、社会への問題提起と教育効果を考えた企画内容であることが評価されたものと思われる。海外での展示の動きも始まった。
- 外来種問題を考えるオリジナルマンガ「オオサンショウウオの恋」は大好評であり、館内ショップで407冊が売れ、教育機関配布分などもあわせて600冊が出た。県内の高校をはじめ、大学やNPO、大分県の宇佐市教育委員会などからの注文もあり、学校教育等で利用されるとのことである。
- 新日本海新聞社と共催したことにより、広く県民に告知することができ、また手塚治虫グッズやマンガを販売することができた。

(2) 関連行事参加者数

映画上映会「ジャングル大帝（劇場版）」（7/27） 参加者数：149名（午前65名・午後84名）

(3) 主な反響（入場者アンケートから 回答者150人）

- 人と動物との関係性についてとても考えさせられました。涙が出ました。ありがとうございました。
- 手塚の作品・思想と鳥取県立博物館の所有する「智・物・考え」が総合的に動物への愛によって結合された一大作品になっている。すばらしい。
- 展示だけではなく、アニメもあり、人間と動物の共生について考える良いきっかけになりました。
- 自然史（標本）と合わせた手塚治虫の企画展は初めて見たが新鮮だった。作品の選定も絶妙です。

- 手塚治虫さんの作品に触れられたことと、テーマに感銘を受けました。
- 切り口が良かった！ 素晴らしい展示でした。共に生きるために考えていきたいです。
- 普段目を背けていたような環境問題などについても、あらためて意識を取り戻そうと思いました。
- 今まで見たことのなかった手塚作品の中に生き物の命と人間のつながりを描いたものがたくさんあることが分かり、手塚作品をもっと見たいと思いました。
- 今の時代だからこそ大切な訴え・投げかけをしてくれている企画だと思います。コンパクトかつダイレクトにメッセージが分かりやすい展示だったと思います。ありがとうございました。
- マンガからのメッセージが題材という企画はなかなかないと思った。
- 動物と共に生きる人の気持ち、動物の気持ちのよくわかる、心温まる展示だった。
- 絶滅危惧種と特定外来生物の2面を持つ動物についての展示など現代的な素晴らしい展覧会だった
- 難しいテーマを、コミックを使うことで身近なこととして引き寄せ、分かりやすかった。シンプルな配置、メッセージコーナー、言葉選びなどどれも深い感銘を受けた力作でした。来たかひがあります。
- 「手塚治虫のメッセージ展」は本当に感動しました。
- 第6回目の絶滅は人間の手によるという所に考えさせられた。良い展示をありがとうございました。
- すごくメッセージがこめられた企画展で良かったです。こめられたメッセージを感じることができました。知らない方々がいる事がもったいないぐらいの素晴らしい企画だったと思います。
- 今回作られた『オオサンショウウオの恋』のマンガがすごく良いです...！ 買いました。
- こういったサブカルと博物館学がタイアップした展示をもっとしてほしい。

▼展覧会の風景



企画展「殿様の愛した禅 黄檗文化とその名宝」の開催結果について

展覧会名	企画展「殿様の愛した禅 黄檗文化とその名宝」
会 期	令和元年10月5日（土）～11月4日（月・振）〔31日間〕
会 場	鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室
主 催	鳥取県立博物館・山陰中央テレビジョン放送株式会社

1 事業概要

江戸時代の鳥取とゆかりの深い黄檗宗について、本山である宇治・萬福寺や鳥取藩主池田家の菩提寺である興禅寺の名宝をもとに紹介した。

展覧会の前半は、江戸時代初めに日本国内で一世を風靡した中国明・清時代の最新文化である「黄檗文化」の諸相を、重要文化財をはじめとした美術作品を通じて紹介し、後半は鳥取池田家の黄檗宗帰依と菩提寺である興禅寺について、歴史資料や仏像彫刻を中心にその歴史をたどった。

これまで、黄檗や中国文化という視点で江戸時代の鳥取を紹介した展覧会はなく、また、中四国地方ではじめて行われた本格的な黄檗展ということもあり、鳥取県の文化史に新たな1ページを加えることができた。

2 開催結果

(1) 企画展入場者数 3,933人（目標4,000人）

「黄檗」という馴染みのないテーマであり、入場者数が心配されたが、かねがね目標の入場者数であった。本展開催の成果と課題としては以下の点があげられる。

- 来館者アンケートでは、大変よかった・よかったと回答された方が 96%（大変よかった71%・よかった25%）であり、来館者の満足度は高かった【（3）主な反響を参照】。
- 展覧会の構成において各章に目玉となり、なおかつインパクトのある展示物を展示し、キャプション類も平易な言葉をなるべく使用したところ、仏教史や歴史に詳しくない来館者から好評であった。
- 仏像（興禅寺蔵）についてすべて撮影OKとしたところ、多くの方が撮影されており、好評を博した。
- 本展覧会だけでなく、人文系の展覧会に共通する課題であるが、来館者の年齢層が高く、若年層の来館が少ないという問題がある。若年層でも楽しめる展示や若年層に届く広報の工夫が必要。
- 黄檗宗の鳥取県内の伝播の中心は東部と西部であるが、東部中心の展示品となってしまう、西部から観覧された方には不満があったようである（展覧会調査で全寺院調査したが、西部地区の寺院に資料がほとんど残っていなかったため、東部中心の展示内容とせざるを得なかったのであるが・・・）。
- （関西では黄檗美術ファンが多いため）展覧会について県外に広く広報すべきであったという関係者の声があった。
- 専門家からは展示品はいずれも質が高いもので、全国巡回可能なレベルのものが揃っているなど高評価であった。
- 山陰中央テレビジョン放送株式会社と共催したことにより、広く県民に告知することができた。

(2) 関連行事参加者数

- 10/5開会式（黄檗青年僧の会による梵唄、鳥取県立八頭高等学校書道部による書道パフォーマンス）約100名
- 10/5 特別講演会（錦織亮介氏「黄檗宗と明清文化の流行」）61名
- 10/13 こちずぶらり（栗谷編）15名
- 10/20 黄檗リレートーク 91名
- 10/27 煎茶を楽しむ会 40名
- ギャラリートーク（10/6：14名、10/12：30名、10/20：31名、11/4 午前午後：100名）

(3) 主な反響 (入場者アンケートから 回答者114人)

- 特に期待しておらなかったが、インパクトのある展示物があり印象に残った。
- 鳥取に加え、黄檗宗の全国的な展開、また時代背景や大名や僧らとの交流もよくわかり、黄檗のイメージがより鮮明になった。
- 黄檗文化が意外に世の中にあふれていると感じた。宗教などと絡むことで文化とは一般生活に馴染んでいくものだと思います。
- キャッチフレーズ(みんなだいすきおぼく)や殿様キャラがちよいちよいつボでした。
- 非常に解りやすい流れでした。作品も素晴らしいものでした。
- 各章ごとに目玉・工夫が見られ非常に興味深かったから。特に藩主画像を位牌と並べる展示は良かった。
- 鳥取にゆかりが深く、テーマも明確でブレなく、その世界に入って観ることでできた。
- 歴代藩主の肖像と位牌は圧巻でした。
- “みつなかくん”キャラのコメントが良い。少一しカジュアルな雰囲気もあり、馴染みやすかった。
- 観覧料は適切か安いくらい。
- 撮影コーナーは面白い試みで良かったです。ただ、周囲が静かなので撮影する勇気がなかったです…。残念…。
- 撮影コーナーはびっくりしましたが、いい傾向で嬉しいです。
- 西部方面にスポットをあてた企画・展示は非常にお粗末です。

▼ 展覧会の風景



「生誕120年 芸術写真の神様 塩谷定好とその時代」 開催要項

1 趣 旨

塩谷定好（しおたに・ていこう 1899年～1988年）は、大正末から昭和初期にかけて隆盛した「芸術写真」の第一人者です。鳥取県の赤碕に身を置きながら、山陰の風景や人物を独特のソフトフォーカスでとらえた作品は、『カメラ』や『アサヒカメラ』といった写真雑誌の全国コンクール「月例懸賞」で入選を重ね、その名を全国に知らしめました。その後戦争による空白期間を経て活動を再開、地元のカメラクラブを中心に旺盛な活動を行い、終生にわたって作品をつくり続けました。近年では、1982年にドイツのケルンで開催された世界最大の写真関連見本市「フォトキナ写真展」での最高賞である栄誉賞の授賞にはじまり、美術館での個展も開催されるなど、再評価の動きが高まっています。

鳥取県立博物館では、このたび塩谷定好の生誕120年を記念して、1920年代の初期作品から、あまり知られてこなかった戦後1970年代までの作品を一堂に紹介する回顧展を開催します。また、日本写真史における芸術写真のムーヴメントを牽引してきた代表的な作家や、塩谷と交流のあった日本光画協会の会員、カメラ雑誌『芸術写真研究』や地元のカメラクラブで同時代に活動していたアマチュア写真家たちの作品もあわせて展観し、人々を魅了した芸術写真の時代とその精神について検証する機会とします。

- 2 展示構成
- 第一部 芸術写真家・塩谷定好（約 170 点）
 - 1-1 初期（1920～30年代）写真作品
 - 1-2 ドローイング等の資料
 - 1-3 戦後（1940～70年代）写真作品
 - 第二部 芸術写真の時代（約 100 点）
 - 2-1 芸術写真の時代を支えた作家たち
 - 2-2 芸術写真の新世代
 - 2-3 鳥取における芸術写真
- 3 会 期 等 令和元年11月16日（土）から12月15日（日） ※休館日：12月2日（月）
- 4 会 場 鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室
- 5 主 催 「塩谷定好展」実行委員会（鳥取県立博物館、日本海テレビジョン放送株式会社）
- 6 入 場 料 一般800円（前売り・団体・大学生・70才以上の方 600円）
- 7 関連事業
- (1) ギャラリートーク
 - 11月16日（土）14時から15時まで
 - 鳥取県立博物館第1・第2特別展示室 定員無し 要観覧料
 - 特別ゲスト：塩谷定好写真記念館館長 塩谷晋氏
 - (2) アートツアー「塩谷定好の赤碕」を巡るツアー
 - 11月23日（土・祝）13時から16時まで
 - 定員20名、要予約 無料（別途要塩谷定好写真記念館入館料）
 - 特別ガイド：写真家 池本喜巳氏
 - (3) 映画上映会「パリが愛した写真家ロベール・ドアノー〈永遠の3秒〉」
 - 11月30日（土）14時から15時30分まで
 - 鳥取県立博物館講堂 定員250名（先着順） 無料
 - (4) 特別講演会「塩谷定好とその時代」
 - 12月7日（土）14時から15時30分
 - 鳥取県立博物館講堂 定員250名（先着順） 無料
 - 講師：写真史家 金子隆一氏
 - (5) ギャラリートーク
 - 12月14日（土）14時から15時まで
 - 鳥取県立博物館第1・第2特別展示室 定員無し 要観覧料
 - 特別ゲスト：写真家 池本喜巳氏

生誕100年 國領經郎展 — 静寂なる砂の景 —

開催要項

1 趣 旨：

國領經郎（こくりょう・つねろう 1919年～1999年）は、砂丘や砂浜を舞台とした情感豊かな絵画作品を数多く描いたことで知られる、日本芸術院会員で日展を中心に活躍した、戦後日本を代表する洋画家のひとりです。

「むきだしの自然」と國領が語った「砂丘」は、訪れた人々の詩的感覚や人生観を揺さぶり、孤独な瞑想の時へと導いていくような、静寂さに満ちた神秘的な場所です。そのような砂丘に強く心を惹かれた國領は、鳥取県の鳥取砂丘や山形県の庄内砂丘、静岡県の中田島砂丘、そして晩年によく訪れた茅ヶ崎海浜など日本各地の砂丘地を取材し、砂のある茫漠とした風景とさまざまな人物、そして鳥たちを登場させる独特の作品世界を構築しました。

本展は、國領の生誕100年を記念し、あらためてその画業を見つめ直そうとするもので、國領出身地・横浜の横浜美術館と、鳥取県立博物館、酒田市美術館が所蔵する國領作品を中心に構成する回顧展です。初期から晩年までの代表作を紹介しながら、國領が表現しようとしたもの、砂のイメージに託そうとしていたものとは何かを探ります。

2 会 期： 令和2年1月25日（土）～2月25日（火）

3 休 館 日： 令和2年1月27日（月）、2月3日（月）、17日（月）

4 開館時間： 午前9時～午後5時 ※入館は閉館の30分前まで

5 観 覧 料： 一般：800円（前売・20名様以上の団体料金：600円）

※次の方々は無料：大学生以下、学校教育活動での引率者、障がいのある方、難病患者の方、要介護者等およびその介護者、70歳以上

6 会 場： 鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室

7 主 催： 鳥取県立博物館、読売新聞社、美術館連絡協議会

8 協 賛： ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本通運、株式会社モリックスジャパン、株式会社吉備総合電設、三和商事株式会社

9 特別協力： 横浜美術館、國領經郎顕彰会

10 出品内容： 横浜美術館、鳥取県立博物館、酒田市美術館所蔵の國領作品を中心に、国内美術館等が所蔵する油彩画や素描類を併せて100点程度を出品

11 主な関連事業：

(1) スペシャルギャラリートーク ～國領經郎の思い出とともに

生前の國領經郎に教えを受け、長く國領のそばでその仕事を見つめてきた洋画家の片岡世喜氏（1947年～）を講師に迎え、展示会場で作品を鑑賞しながら、國領の人柄やエピソード、技法的特徴や作品の魅力についてお話いただきます。

日時：1月25日（土）14:00～15:00 会場：本展展示会場（要観覧料）

講師：片岡世喜氏（日展会員、國領經郎顕彰会会長） 定員：なし

(2) スペシャルアートシアター「砂の女」（1964年、原作・脚本：安部公房、監督：勅使河原宏、147分、DVD）

安部公房の同名の小説を映像化したモノクロ映画作品を上映します。撮影場所は、國領經郎も頻繁に取材した静岡県の浜岡砂丘です。

日時：2月8日（土）14:00～16:30 会場：2階講堂（参加費無料） 定員：250名（申込不要・先着順）

(3) ワークショップ「カメラをもって、鳥取砂丘を歩く —國領經郎作品の残像とともに—」

日時：2月22日（土）13:00 鳥取県立博物館に集合、16:00 鳥取砂丘で解散

会場：本展展示会場（要観覧料）、鳥取砂丘（自家用車、路線バス等で各自移動）

ナビゲーター：三浦努（当館主幹学芸員） 対象：高校生～一般 定員：先着15名

12 問合せ先： 鳥取県立博物館 三浦努（TEL. 0857-26-8045）



令和元年度 鳥取県立博物館企画展

生誕100年 國領經郎展

— 静寂なる砂の景 —

2020年1月25日(土)～2月25日(火)

※休館日:1月27日(月)・2月3日(月)・17日(月)

- 【開館時間】 午前9時～午後5時 ※入館は閉館の30分前まで
- 【観覧料】 一般:800円(前売・20名様以上の団体料金:600円)
※次の方々は無料です。◎大学生以下 ◎学校教育活動での引率者
◎障がいのある方、難病患者の方、要介護者等およびその介護者 ◎70歳以上
- 【会場】 鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室
- 【主催】 鳥取県立博物館、読売新聞社、美術館連絡協議会
- 【協賛】 ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、
◎日本通運、モリックスジャパン、吉備総合商社、◎三和商事
- 【特別協力】 横浜美術館、國領經郎顕彰会

砂の世界へ。

生誕100年 國領經郎展

— 静寂なる砂の景 —

國領經郎(こくりょう・つねろう 1919年～1999年)は、砂丘や砂浜を舞台とした情感豊かな絵画作品を数多く描いたことで知られる、日本芸術院会員で日展を中心に活躍した、戦後日本を代表する洋画家のひとりです。

「むきだしの自然」と國領が語った「砂丘」は、訪れた人々の詩的感覚や人生観を揺さぶり、孤独な瞑想の時へと導いていくような、静寂さに満ちた神秘的な場所です。そのような砂丘に強く心を惹かれた國領は、鳥取県の鳥取砂丘や山形県の庄内砂丘、静岡県の中田島砂丘や浜岡砂丘、そして晩年によく訪れた茅ヶ崎海浜など日本各地の砂丘地を取材し、砂のある茫漠とした風景とさまざまな人物、そして鳥たちを登場させる独特の作品世界を構築しました。

本展は、國領の生誕100年を記念し、あらためてその画業を見つめ直そうとするもので、國領出身地・横浜市の横浜美術館と、鳥取県立博物館、酒田市美術館が所蔵する國領作品を中心に構成する回顧展です。初期から晩年までの代表作を紹介しながら、國領が表現しようとしたもの、砂のイメージに託そうとしていたものとは何かを探ります。



◎関連プログラム

スペシャルギャラリートーク ～國領經郎の思い出とともに～

生前の國領經郎に教えを受け、長く國領のそばでその仕事を見つめてきた洋画家の片岡世喜氏(1947年～)を講師に迎え、展示会場で作品を鑑賞しながら、國領の人柄やエピソード、技法の特徴や作品の魅力についてお話しできます。

○日時:1月25日(土) 14:00～15:00 ○会場:本展展示会場(要観覧料)
○講師:片岡世喜氏(日展会員、國領經郎顕彰会会長) ○定員:なし

ギャラリートーク (本展担当学芸員による展示解説)

○日時:2月1日(土)、2月15日(土) 各日とも14:00～15:00
○会場:本展展示会場(要観覧料) ○定員:なし

スペシャルアートシアター「砂の女」

(1964年、原作・脚本:安部公房、監督:勅使河原宏、147分、DVD)

砂に翻弄される人間を独特の視点で描き、国内外で高く評価された安部公房の同名の小説を映像化したモノクロ映画作品を上映します。撮影場所は、國領經郎も頻りに取材した静岡県の浜岡砂丘です。絵画とは異なるメディアで表現された、砂という存在に触発された芸術作品をお楽しみください。

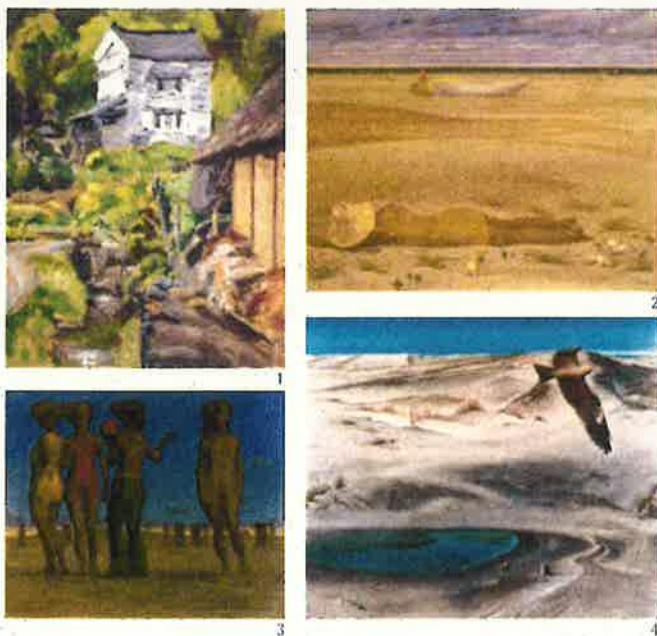
○日時:2月8日(土) 14:00～16:30 ○会場:2階講堂(視聴無料)
○定員:250名(申込不要・先着順)

ワークショップ

「カメラをもって、鳥取砂丘を歩く ～國領經郎作品の残像とともに～」

○日時:2月22日(土) 13:00 鳥取県立博物館に集合、16:00鳥取砂丘で解散
○会場:本展展示会場(要観覧料)、鳥取砂丘(自家用車、路線バス等で各自移動)
○ナビゲーター:三浦努(当館主幹学芸員) ○対象:高校生～一般 ○定員:先着15名
○申込:2月7日(金) 8:30～ 電話とFAXで受付 ※小雨決行。カメラは各自で持参してください。

1.《白い歳》1937年、油彩・カンヴァス、酒田市美術館蔵 2.《海浜の風景》1971年、油彩・カンヴァス、個人蔵
3.《砂の上の群像》1974年、油彩・カンヴァス、京都・立近代美術館蔵 4.《鷗々》1995年、油彩・カンヴァス、鳥取県立博物館蔵
5.《風》1981年、油彩・カンヴァス、愛知県美術館蔵 ※作品は全て國領經郎作品



交通のご案内

- ◎ JR鳥取駅からバスで
 - a. 1001バス「くる梨(緑コース)」で「@仁風閣・県立博物館」下車すぐ
 - b. ループ線「獅子」で「鳥取城跡」下車すぐ
 - c. 砂丘、湖山、賢路方面行「西町」下車約400m
 - d. 市内回り岩倉、中河原方面行「わらべ館前」下車約600m
- ◎ JR鳥取駅からタクシーで…約10分
- ◎ 鳥取空港から…鳥取駅行連絡バスで「西町」下車約400m
- ◎ お車で…鳥取自動車道・鳥取ICより約15分

◎ 当館駐車場40台駐車可能 ※なるべく公共交通機関をご利用ください



FOLLOW US!



当館HPはこちら

【いっしょにみてみて、もくようび。】
展示室に小さなお子様とご一緒に
おいでいただき、気兼ねなく作品鑑
賞をしていただくための時間として、
会期中の毎週木曜日の午前中を
「子どもと一緒に鑑賞優先時間」と
しています。ペピーカーを押して、
ぜひお越しください。

鳥取県立博物館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

〒680-0011 鳥取県鳥取市東町2丁目124 TEL.0857-26-8042 FAX.0857-26-8041
https://www.pref.tottori.lg.jp/museum/ E-mail hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp

お客様の満足の「その先へ」

MORRIX
株式会社モリックスジャパン
TEL 0857-23-3641
本社 鳥取市高岡町2-03-6
鳥取支店 鳥取市下田中町8-7-0 中央ビル3F
http://www.morrix.co.jp/

We Find the Way

日本通運
NIPPON EXPRESS
鳥取支店 0857-28-0202

自然展示室

■「自然の窓」コーナー

- ・令和元年5月1日～（開催中）
鳥取県初！鳥取市河原町で発見された足あと化石（田邊）

■「身近な植物」コーナー

- ・平成31年3月12日～令和元年7月15日
ありがとう平成！～生きものと自然を大切にした時代～（清末・一澤・川上）
- ・令和元年7月16日～（開催中）
砂浜の外来種 オニハマダイコン（清末）

■オオサンショウウオ・コーナー

- ・令和元年7月13日（土）から展示再開
安佐動物公園から繁殖飼育個体を1個体譲り受け

歴史・民俗展示室「歴史の窓」

- ・平成31年4月23日（火）～6月23日（日）
尼子再興軍結成450年—尼子勝久・山中鹿介の挑戦—（山本）
- ・令和元年6月25日（火）～7月15日（月・祝）（来見田）
鳥取市・姫路市・岡山市市政130年 池田家のお国替え—移住者たち—
- ・令和元年7月17日（水）～9月8日（日）（福代）
蒔絵の美—鳥取県無形文化財〔保持者：田中稲月（故人）〕の仕事—
- ・令和元年9月11日（水）～11月10日（日）（小山）
マンダラの考古学
- ・令和元年11月12日（火）～令和2年1月19日（日）（山本）
UTSUSHI—時を超えた歴史のリレー—
- ・令和2年1月21日（火）～3月22日（日）（大嶋）

令和元年度 鳥取県立博物館・河北博物院交流20周年記念展
「鳥取の和紙（案）」開催要項

1 趣旨

平成30年度に鳥取県立博物館と河北博物院が友好交流館協定を締結してから20周年を迎えた。この間、両館は隔年で職員を相互に派遣し、フォーラムやワークショップを行うなど友好交流を重ねてきた。

今回、交流20周年を記念して、平成30、令和元年度と2か年にわたって相互に展覧会を開催する。平成30年度は河北博物院所蔵の「武強年画」、「蔚県の切り紙」、「唐山皮影芝居」を当館で展示した。2年度目の令和元年度には当館所蔵の民芸品（因州和紙）を河北博物院で展示する。

本展示を通じて、鳥取県の歴史文化について広く河北省に紹介するとともに、両館のさらなる交流、協力関係を促進させる一助としたい。

2 会期 令和元年12月19日～令和2年2月28日

3 会場 河北博物院（中華人民共和国 河北省 石家荘市）

4 主催 鳥取県立博物館、河北博物院

5 展示内容

(1) 日本の和紙文化

- ①中国から日本へ紙の伝来 ②日本の和紙産地 ③多様な和紙の種類

日本の和紙文化について、主要な和紙生産地を中心に展示紹介するとともに、世界史、アジア史的な観点で日本の和紙文化を紹介する。そのうえで、「因州和紙」の位置付けを明らかにする。

(2) 因州和紙の歴史と文化

- ①鳥取県とその歴史 ②因州和紙の歴史
③因州和紙の製造方法 ④和紙を使った鳥取の民芸品

因州和紙の歴史をひもとくとともに、伝統的な因州和紙の製造方法、また最新の因州和紙に関する取り組みを紹介する。そのほか、鳥取県内における「和紙」（広い意味で）と関わる民芸品（淀江傘、しゃんしゃん傘、はこた人形 etc.）を紹介する。

(3) 因州和紙の現在

- ①因州和紙の多様な産品（紙あかり、落水紙ランプシェイド、写真作品、剪紙作品）
②因州和紙でみる県博コレクション（複製）鳥取ゆかりの錦絵（坂本コレクション）

常設展の展示概要(美術部門)

■1階美術常設展示室

	テーマ
4月17日(水)～6月2日(日) コレクション展Ⅰ	美術家大辞典 鳥取県立博物館版 近世以前編:あ行の作家(上)
6月5日(水)～7月21日(日) コレクション展Ⅱ	美術家大辞典 鳥取県立博物館版 近世以前編:あ行の作家(下)
7月24日(水)～9月8日(日) コレクション展Ⅲ	美術家大辞典 鳥取県立博物館版 近世以前編:か行の作家(上)
9月11日(水)～10月27日(日) コレクション展Ⅳ	美術家大辞典 鳥取県立博物館版 近世以前編:か行の作家(下)
10月30日(水)～12月8日(日) コレクション展Ⅴ	美術家大辞典 鳥取県立博物館版 近世以前編:さ行の作家(上)
12月11日(水)～1月26日(日) コレクション展Ⅵ	美術家大辞典 鳥取県立博物館版 近世以前編:さ行の作家(下)
1月29日(水)～3月15日(日) コレクション展Ⅶ	美術家大辞典 鳥取県立博物館版 近世以前編:た行の作家(上)
3月18日(水)～4月 コレクション展Ⅷ	美術家大辞典 鳥取県立博物館版 近世以前編:た行の作家(下)

■2階近代美術展示室(第3特別展示室)

	テーマ
4月27日(土)～6月16日(日) コレクション展	美術家大辞典 鳥取県立博物館版 近現代編:あ行・か行の作家
7月20日(土)～8月25日(日) 夏休み企画 シリーズ:美術をめぐる場をつくるⅠ	アートとの遭遇
10月5日(土)～12月8日(日) コレクション展	美術家大辞典 鳥取県立博物館版 近現代編:さ行・た行の作家

※本年度の各コレクション展(美術家大辞典)では、別紙のとおり、作家や作品についての情報提供(協力)を呼びかける来場者アンケート「あなたも一緒に『美術家大辞典』をつくりませんか」を実施中。

美術家大辞典

鳥取県立博物館版

「大」辞典にするためのアンケート

あなたも一緒に、「美術家大辞典」をつくりませんか？

美術部門では、二〇一九年四月より、「美術家大辞典」と冠して、コレクション展示をおこなっています。この企画は二年にわたって継続するもので、今年度は全十回の展示替を予定しています。

展示室では、美術部門のコレクションに含まれる美術作品の作者を五十音順に紹介しています。そのなかには、情報がきわめて限られている作者も含まれます。しかし、とくに鳥取県ゆかりの作者については、ご親戚や知人関係、師弟関係などに当たられる方や、諸方面にお詳しい方がいらっしゃるかと思えます。そこでこの展覧会を機に、展示されている作者や作品について、あなたがご存知のことがありましたら、教えてくださいませんか？

どんな些細なことでも構いませんので、ぜひ下の枠内にご記入ください！

◆あなたが情報をお持ちの作者／作品名

◆その他、本展覧会においてお気づきの点があれば、ご記入ください。

ご存知の情報を自由にご記入ください。

(例) 活動地／交友関係など。

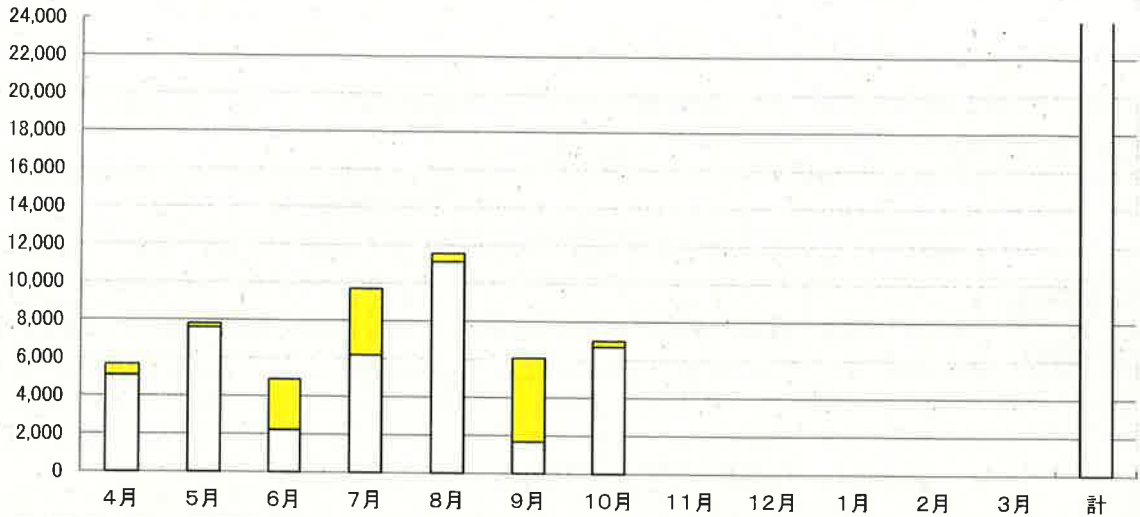
作品から読み取れる場所(地名など)／
画賛・銘の内容／関連作品の所在など。

ご協力ありがとうございました！

博物館入館者の状況

【鳥取県立博物館利用者数】

<令和元年10月31日現在>



区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	<参考> H30年度
来館者	常設展(A)	2,283	3,921	2,094	2,690	5,385	1,629	3,660					21,662	17,736
	企画展(B)	2,660	3,566		3,271	5,570		2,992					18,059	17,638
	普及活動(館内)(C)	133	108	138	189	123	38	0					729	1,627
	研究相談(D)	4	13	3	44	55	12	33					164	296
	小計	5,080	7,608	2,235	6,194	11,133	1,679	6,685					40,614	37,297
	県・展・ジュニア展(E)						4,356						4,356	3,476
	貸館利用者数(F)	563	191	2,642	3,488	425	37	300					7,646	28,337
	ミューゼ利用者数	1,562	1,594	1,206	1,079	1,556	1,304	1,134					9,435	11,248
	総来館者数	7,205	9,393	6,083	10,761	13,114	7,376	8,119					62,051	80,358
普及活動(館外 計)	540	259	1,541	400	215	40	0					2,995	4,205	
博物館利用者総計	7,745	9,652	7,624	11,161	13,329	7,416	8,119					65,046	84,563	

<企画展別入館者数>

R元年度	
企画展名	入館者数(人)
ニューヨークアートシーン展	6,226
手塚治虫のメッセージ	8,841
黄檗文化とその名宝	3,933
塩谷定好とその時代	
國領經郎展	
計	19,000

H30年度	
企画展名	入館者数(人)
大大山展	2,593
とつとりの化石EXPO!	11,873
土方稲嶺	4,655
ミュージアムとの創造的対話	1,676
Our Collections!(3/6時点)	1,512
計	22,309

<主な貸館による入館者数>

R元年度	
展覧会名	入館者数(人)
倉吉耕お披露目展	563
青谷・上寺地展(共催・常設扱い)	
鳥取市民美術展	2,477
計	3,040

H30年度	
展覧会名	入館者数(人)
歌川広重の世界	11,304
描くひと 谷ロジローの世界	6,847
鳥取市民美術展	2,476
麒麟展	3,619
日本伝統工芸中国支部展	1,375
毎日書道展	762
発掘! 因幡の遺跡展	1,881
第40回記念鳥取県書道連合会展	610
第42回鳥取書道連盟展	648
計	29,522

鳥取県立博物館におけるインターネット関連広報について

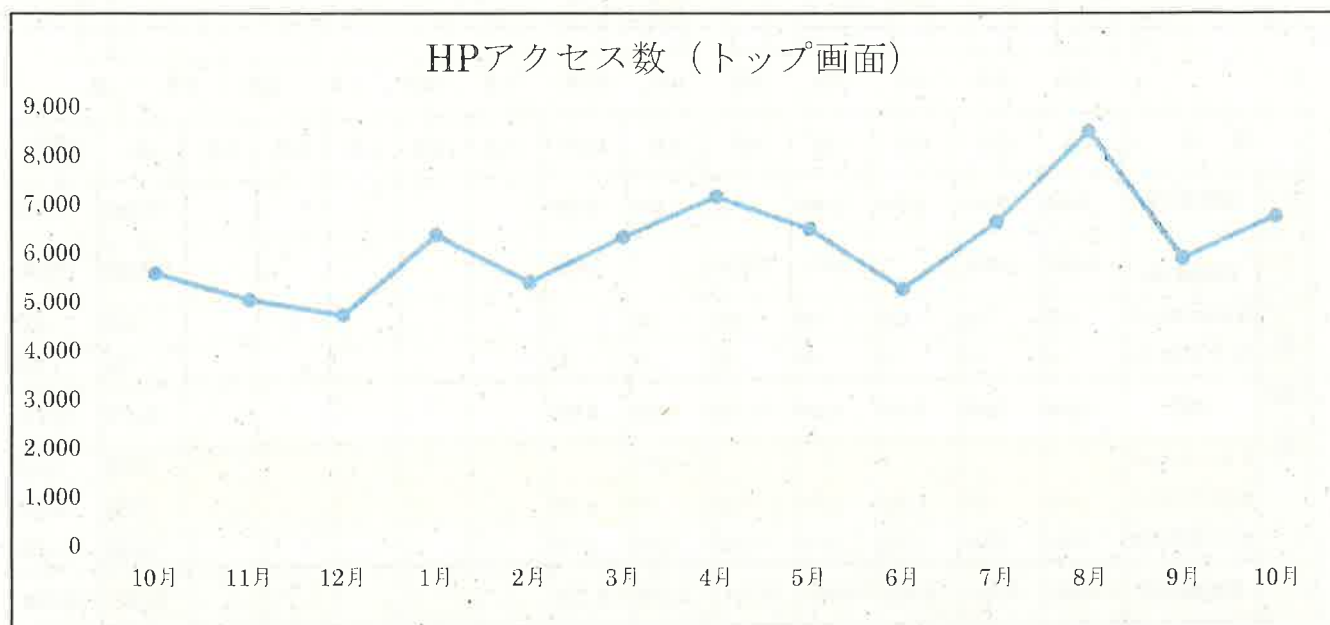
1. とりネット（ホームページ）による広報

企画展の情報を適宜更新する他、常設展示の内容や収蔵資料のデータベース利用ができる。

《鳥取県立博物館ホームページのアクセス数の推移》

	令和元年度												
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
HP アクセス数 (トップ画面)	5,565	5,024	4,708	6,349	5,385	6,308	7,134	6,476	5,247	6,621	8,479	5,882	6,737

※博物館トップページのアクセス数のみ。Facebook から直接、企画展等のリンクに飛んだ場合はカウントされていない。



2. SNS（Facebook）による広報

平成28年9月より鳥取県立博物館のFacebookの運用を開始。

投稿内容は、企画展情報や普及講座の参加募集・実施状況の他、マスコミへ資料提供など、博物館利用者へ情報を拡散したいものとしている。

《鳥取県立博物館 Facebook ページのアクセス数の推移》

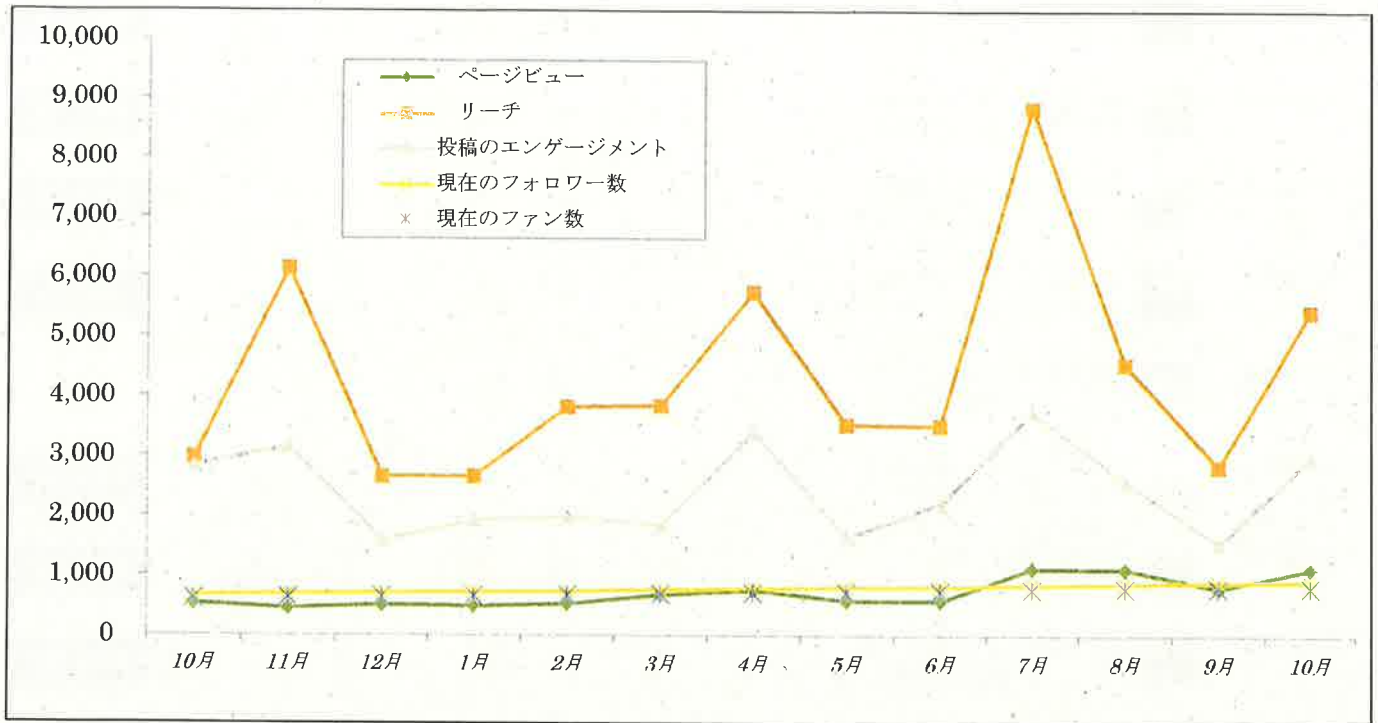
	令和元年度												
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
ページビュー	531	454	514	488	527	682	763	595	586	1,132	1,120	809	1,119
ページへのいいね!(増加数)	13	30	14	12	14	18	27	10	14	28	16	15	18
リーチ	2,980	6,138	2,659	2,663	3,827	3,847	5,753	3,538	3,521	8,854	4,551	2,843	5,433
投稿のエンゲージメント	2,837	3,149	1,591	1,921	1,995	1,841	3,419	1,643	2,214	3,750	2,580	1,553	2,985
フォロワー(増加数)	14	32	16	16	18	20	32	11	15	31	26	17	21
現在のフォロワー数	676	699	717	730	745	775	803	817	830	857	885	904	922
現在のファン数	614	636	654	665	677	697	719	732	744	769	786	803	817

ページビュー … (博物館の Facebook ページ本体が閲覧された回数)

ページへのいいね! … (博物館の Facebook ページ本体がいいね!された回数※投稿ではない)

リーチ … (投稿を見てくれている人数)

投稿のエンゲージメント… (投稿でいいね！やコメント、シェア、写真の閲覧、リンクのクリック、動画の再生などが実行された回数)



■ 投稿別の情報拡散数 (2019年10月投稿分)

公開日時	投稿	タイプ	ターゲット設定	リーチ	エンゲージメント	ステータス
2019/11/05 12:00	【まもなく開幕！】企画展「生誕120年 芸術写真の神様」	公開	公開	951	65 134	投稿を宣伝
2019/10/31 9:47	当館の恒例企画を、この土曜日に開催します！地元に好き	公開	公開	423	25 34	投稿を宣伝
2019/10/30 16:43	【美術部門コレクション展】「美術家大辞典 鳥取県立博	公開	公開	433	15 42	投稿を宣伝
2019/10/30 11:48	【開幕まで残りあとわずか】企画展「殿様の愛した地 美	公開	公開	393	24 53	投稿を宣伝
2019/10/26 19:44	鳥取県立博物館	公開	公開	401	29 18	
2019/10/26 14:51	【昨年度、鳥取県立博物館で開催された「土方頼親」展が	公開	公開	1K	130 165	投稿を宣伝
2019/10/26 12:07	【「アソホー！」で未来館にたいたアナウンサーの風鈴	公開	公開	538	113 64	投稿を宣伝
2019/10/26 10:49	【企画展がTSKの「アソホー！」で紹介されます】本日	公開	公開	473	59 70	投稿を宣伝

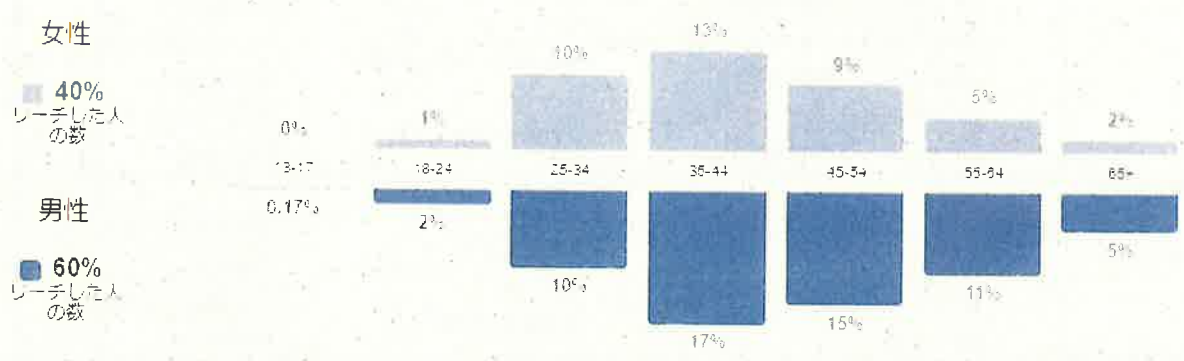
2019/10/15 15:08		【10月20日（日）は一日、企画展「美濃文化とその名産」		381		16 36		投稿を宣伝
2019/10/14 14:59		【企画展「美濃文化とその名産」がインターネットミニー		499		63 63		投稿を宣伝
2019/10/11 09:09		【本日10月11日より境港市の海とくらしの史料館で		939		81 105		投稿を宣伝
2019/10/11 8:18		【申込受付中！】野外観察会「あちほの中のモンスターを		312		6 16		投稿を宣伝
2019/10/11 3:18		【10月12日（二）、馬取県立博物館で歴史にのびてみませ		356		22 38		投稿を宣伝
2019/10/10 17:24		【開催中上のお知らせ】10月12日（土）に開催を予定して		335		10 21		
2019/10/10 13:47		10月12日（二）は博物館でアートシアター「視聴無〜！		537		22 72		投稿を宣伝
2019/10/05 14:18		【美濃屋敷会式】書道パフォーマンス		643		77 94		投稿を宣伝
2019/10/05 14:07		音楽を奏でるような梵唄（ぼんばい）と八頭高等学校書道		423		26 44		投稿を宣伝
2019/10/26 13:49		【企画展がTSKの「アツアツ〜！」で紹介されます】本日		473		59 70		投稿を宣伝
2019/10/25 10:27		【企画展「美濃文化とその名産」会期あとわずか！11/1		1.5K		55 89		投稿を宣伝
2019/10/24 15:07		現在、倉吉市のショッピングセンター「パルタワン」		303		5 16		投稿を宣伝
2019/10/24 9:10		【10月26日（二）、コレクション展「美作家大辞典」のキ		429		26 33		投稿を宣伝
2019/10/23 05:09		【10/20（三）記憶の秋〜とカリモノをさがしに出かけよ		377		47 43		投稿を宣伝
2019/10/22 14:27		10月20日（日）、大山町大山で自然講座「結露をさがして		617		113 137		投稿を宣伝
2019/10/20 13:29		昨日（10月19日（土））は、雨が降る中、倉吉銀座商店		386		6 30		投稿を宣伝
2019/10/18 08:43		【10月22日は写説展示の観覧無〜！】即位礼正殿の儀に伴		428		14 38		投稿を宣伝
2019/10/18 07:29		おいしい煎茶はいかが？（煎茶体験イベント）、申込ませ		411		22 43		投稿を宣伝

2019/10/04 16:12		【美術家大辞典「近現代編」企画展「美術家」と同時展	572	38	60	投稿を宣伝
2019/10/03 11:34		【企画展10月5日開幕】現在の展示作業の様子を少しご紹介	711	52	76	投稿を宣伝
2019/10/03 13:33		【子ども月市着の国祝（鳥取市立久松小学校6年生の取	616	64	51	投稿を宣伝
2019/10/03 9:20		受付を開始しました。六山のプラザで専門の先生と相談	542	51	105	投稿を宣伝
2019/10/03 9:57		9月29日、教員免許状更新講習が実施されました。県内外	420	46	45	投稿を宣伝
2019/10/01 18:43		【10月4日～受付開始】また今、県民の皆様と一緒に「鳥	1K	80	63	投稿を宣伝

■博物館 FB リーチした人数（世代ごとの割合／2019年10月まで）

ファン フォロワー リーチした人 アクションを実行した人

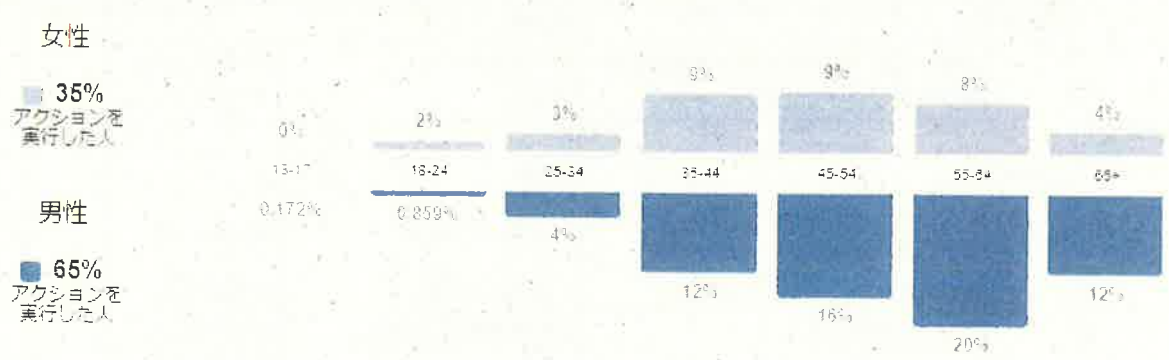
The number of people who had any contact from your Page or about your Page enter their screen screen, grouped by age and gender. This number is an estimate.



■投稿をクリックするなどアクションした人（興味を持たれた人数／世代ごとの割合）

ファン フォロワー リーチした人 アクションを実行した人

ページを話題にしている人の年齢と性別ごとの人数です。この数字は推定値です。



※定員欄が空欄のものは、定員の設定がないものである。

※参加人数が空欄のものは、実施日が到来していないのものである。

R1.10.31時点

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績	
01移動博物館	計9件						
	01自然	計4件					
		《出前展示》鳥取県の化石	岩倉小学校	6月10日(月)～6月17日(月)	20	8	
		移動博物館「とっとりの自然と歴史」in 境港	海とくらしの史料館	10月11日(金)～10月17日(木)		384	
		《出前展示》鳥取県の化石	八東小学校	10月28日(月)～11月8日(金)			
		レッドデータブックとっとりのいきものまたは鳥取県の化石	岩美町中央公民館	3月16日(月)～3月30日(月)			
	02人文	計5件					
		特別移動展示「変わりゆく郷土 写真で見るとっとり1968-2018」	倉吉博物館	7月3日(水)～7月21日(日)		346	
		特別移動展示「変わりゆく郷土 写真で見るとっとり1968-2018」	八頭町中央公民館	8月1日(木)～8月14日(水)		54	
		特別移動展示「変わりゆく郷土 写真で見るとっとり1968-2018」	ヴィレステひえづ	8月28日(水)～9月11日(水)		734	
特別移動展示「変わりゆく郷土 写真で見るとっとり1968-2018」		大山町立名和公民館	12月6日(金)～12月19日(木)				
	特別移動展示「変わりゆく郷土 写真で見るとっとり1968-2018」	岩美町中央公民館	1月7日(火)～1月16日(木)				
02移動美術館	計2件						
	03美術	「岡村吉右衛門、生田和孝と民藝運動の巨匠たち」	石谷家住宅	6月1日(土)～6月23日(日)		1,465	
「とっとりの美術散歩―名品セレクション編」		日南町美術館	7月26日(金)～8月18日(日)		462		
03-1学芸員派遣(教員用講師・指導助言)	計4件						
	01自然	計1件					
	浦富海岸に自生する希少植物の現地確認	岩美町浦富海岸	5月9日(木)	3	3		
	02人文	計1件					
	鳥取城について	博物館展示室、鳥取城跡	7月9日(火)		8		
03美術	計2件						
	図画工作科・美術科に係る教職員研修	米子養護学校	8月20日(火)		28		
	中部地区教育研究会図画工作部会	博物館	11月6日(水)				
03学芸員派遣	計56件						
	01自然	計8件					
		自然観察会(NACS-J自然観察指導員講習会の地域観察会のテーマを探る)	大山町大山寺地区	4月14日(日)		8	
		研修会「久松山の優れた自然」	久松地区公民館	4月20日(土)		38	
		歴史・自然探訪会	岩美町浦富桐山城跡	4月27日(土)		16	
		第550回自然観察指導員講習会・鳥取	大山町大山とやま旅館	5月11日(土)～5月12日(日)	60	74	
		地域植生の現地学習会(森のガイド育成)	智頭町芦津溪	5月18日(土)		7	
		成人教育「野草を楽しむ」	湯梨浜町中央公民館羽合分館・馬の山	5月28日(火)		22	

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績	
		親子でいっしょに楽しむ講座⑥「押し花の作り方を学ぼう」	鳥取市中央図書館	7月24日(水)		46	
		体育・レク教育「秋を楽しむ -野草の観察-」	多鯉ヶ池弁財天・多鯉ヶ池探勝路	11月21日(木)		20	
	02人文	計14件					
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	4月6日(土)~4月7日(日)	48	32	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室	5月4日(土)	48	16	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	6月1日(土)~6月2日(日)	48	36	
		高校生のための古文書ワークショップ	博物館会議室	6月9日(日)	10	6	
		常設展解説のための考古学基礎講座	博物館会議室	6月23日(日)	48	12	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室	7月6日(土)	48	17	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	8月3日(土)~8月4日(日)	48	30	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	9月1日(日)~9月7日(土)	48	27	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉交流プラザ、米子市旧市庁舎	10月5日(土)	48	16	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室	11月2日(土)	48		
		古文書解読ボランティア	博物館会議室	12月7日(土)	48		
		古文書解読ボランティア	博物館会議室	1月11日(土)	48		
		古文書解読ボランティア	博物館会議室	2月1日(土)	48		
		古文書解読ボランティア	博物館会議室	3月7日(土)	48		
	03美術	計34件					
		アーティストの世界にふれてみよう	溝口中学校	8月22日(木)		12	
		コレクション宅配便	境港市立第三中学校	6月12日(水)		95	
		ワークショップ「紙コップ10000個でアート」	琴浦町立浦安小学校	6月13日(木)		35	
		アーティストの世界にふれてみよう	散岐小学校	6月27日(木)、28日(金)		29	
		ワークショップ「落書きばんざい！」	中ノ郷公民館	7月30日(火)		73	
		ワークショップ「色水で遊ぼう」	境港市中浜公民館	8月1日(木)		50	
		コレクション宅配便	湯梨浜町中央公民館羽合分館	8月5日(月)		82	
		学芸員派遣「不思議な絵の具で描いてみよう！」	松の聖母学園	8月8日(木)		15	
		バス招待事業事前授業	浦安小学校	9月24日(火)		68	
		バス招待事業事前授業	明道小学校	9月26日(木)		51	
		学芸員派遣「不思議な絵の具で描いてみよう！」	若葉台小学校	9月27日(金)		70	
		バス招待事業事前授業	逢坂小学校	9月30日(月)		33	
		バス招待事業事前授業	宮ノ下小学校	10月1日(火)		55	
		バス招待事業事前授業	面影小学校	10月2日(水)		68	
		バス招待事業事前授業	用瀬小学校	10月4日(金)		43	
		バス招待事業(用瀬小学校)	博物館展示室	10月7日(月)		43	
		バス招待事業(宮ノ下小学校)	博物館展示室	10月8日(火)		55	
		バス招待事業(明道小学校)	博物館展示室	10月8日(火)		51	
		バス招待事業(面影小学校)	博物館展示室	10月8日(火)		68	
		バス招待事業(逢坂小学校)	博物館展示室	10月9日(水)		33	
		コレクション宅配便	大山町立大山中学校	10月15日(火)		51	
		バス招待事業(住吉小学校)	博物館展示室	10月21日(月)		116	

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績
		学芸員派遣	溝口公民館	10月23日(水)		41
		バス招待事業事前授業	湖山西小学校	10月29日(火)		52
		バス招待事業(浦安小学校)	博物館展示室	10月31日(木)		68
		バス招待事業事前授業	明治小学校	10月31日(木)		16
		バス招待事業(明治小学校)	博物館展示室	11月5日(火)		
		バス招待事業事前授業	義方小学校	11月12日(火)		
		バス招待事業(義方小学校)	博物館展示室	11月15日(金)		
		バス招待事業(岸本小学校)	博物館展示室	11月15日(金)		
		バス招待事業事前授業	国府東小学校	11月20日(水)		
		バス招待事業(国府東小学校)	博物館展示室	11月26日(火)		
		学芸員派遣	鳥取市教育センター適応教室 すなはま	11月27日(水)		
		学芸員派遣	米子市立啓成小学校	2月15日(土)		
		学芸員派遣	三朝小学校	未定		
04教員の日		計1件				
	04普及	教員のための博物館の日	博物館講堂, 博物館展示室	7月29日(月)		55
05普及講座		計98件				
	01自然	計17件				
		春の星を見る会	博物館前庭	4月27日(土)		25
		鳥取県生物学会員と歩く「生物観察会」in 打吹山	倉吉市打吹山	5月19日(日)	30	78
		自然観察さいしょの一步	米子湊山公園(米子城跡)	6月1日(土)	20	30
		粘菌をさがして標本をつくろう(照葉樹林編)	会議室、博物館周辺	6月30日(日)	20	21
		ジャングル大帝(劇場版)	博物館講堂	7月27日(土)	250	149
		川原の石をしらべよう!	鳥取市河原町和奈見	7月28日(日)	20	8
		標本を調べる会	博物館会議室	8月18日(日)		40
		夏の星を見る会	博物館(多目的広場)	8月24日(土)		7
		虫の音を聞く会～鳴く虫聞き分け講座～	博物館会議室、博物館周辺、 重箱緑地公園	9月7日(土)	20	7
		みて!さわって!ホネを楽しもう	博物館会議室	9月29日(日)	15	12
		きのこを調べる会(台風接近のため中止)	大山町大山下山キャンプ場	10月12日(土)	30	—
		粘菌をさがして標本をつくろう(ブナ林編)	とやま旅館(大山町大山18)	10月20日(日)	20	14
		鉱物の秋～ヒカリモノをさがしに出かけよう～(化石もあるよ)	鳥取市国府町上地	10月20日(日)	20	36
		おちばの中のモンスターをさがそうin 倉吉	倉吉市打吹公園	10月27日(日)	20	20
		はじめてのバードウォッチング	鳥取市湖山池	11月23日(土)	20	
		目からうろこ! タンポポの本当のはなし	博物館講堂	12月7日(土)	250	
		砂つぶトレジャーハンティング!	博物館会議室	12月15日(日)	20	
	02人文	計31件				
		大名池田家の国替えに関する試論	博物館会議室	4月13日(土)		25
		尼子勝久・山中鹿介の挑戦—尼子再興戦450年—	博物館講堂	5月19日(日)	230	60
		戦国大名毛利氏による伯耆国大山寺の造営事業	博物館会議室	6月8日(土)		12
		1920年代の鳥取県西部の鉄道敷設運動	博物館会議室	7月13日(土)		13

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績	
		色々な紙を巻物にしよう	博物館会議室	7月21日(日)	20	11	
		展示解説「蒔絵の美」	歴史・民俗展示室	7月28日(日)		13	
		鳥取県の民話を聞く会	歴史・民俗展示室	8月18日(日)	40	35	
		展示解説「蒔絵の美」	歴史・民俗展示室	8月18日(日)		9	
		天保改革期の因州鳥取藩財政—鴻池新十郎「日記」天保14年より—	博物館会議室	8月24日(土)		20	
		泥塔クッキーをつくろう	久松地区公民館	9月13日(金)	10	4	
		泥塔クッキーをつくろう	久松地区公民館	9月14日(土)	10	9	
		豪円の寺院再興と近世大山寺の成立	米子市立図書館2階研修室	9月14日(土)	200	50	
		黄檗美術研究第一人者による特演会「黄檗宗と明清文化の流行」	博物館講堂	10月6日(日)	250	61	
		担当者による黄檗トーク	博物館展示室	10月6日(日)		14	
		「やきもの」からみた鳥取城内・城下・村—発掘調査の成果から—	博物館会議室	10月12日(土)		9	
		担当者による黄檗トーク	博物館展示室	10月12日(土)		30	
		「鳥取こちずぶらり」でまち歩き—興禅寺周辺をぶらり—	鳥取市栗谷町界限	10月13日(日)	15	15	
		黄檗と鳥取の関係をやさしくひも解くリレートーク	博物館講堂	10月20日(日)	250	91	
		担当者による黄檗トーク	博物館展示室	10月20日(日)		31	
		《企画展関連体験講座》隠元さんが伝えた煎茶体験(2回開催)	博物館会議室	10月27日(日)	40	40	
		担当者による黄檗トーク	博物館展示室	11月4日(日)			
		※因幡守護山名豊時・豊重父子と室町幕府(仮)	博物館会議室	11月9日(土)			
		古戦場・山城・荘園をあるく—山名氏の伯耆支配と上神地域—	倉吉市内	11月10日(日)	20		
		日常学としての民俗学—柳田國男と橋浦泰雄から考える—	博物館講堂	12月8日(日)	230		
		※鳥取県立図書館所蔵和古書の伝世について(仮)	博物館会議室	12月14日(土)			
		鳥取県の民話を聞く会	博物館展示室	12月22日(日)	40		
		※文明11年(1479)における大山寺根本中堂の再興勸進状について(仮題)	博物館会議室	1月18日(土)			
		考古学の実測図-視る・描く・楽しむ-	博物館会議室	2月9日(日)	10		
		※記念講演会「鳥取ゆかりの力士たち」	博物館講堂	2月23日(日)	250		
		※近世中後期の鳥取藩と公家—公家への「出入」・「立入」を事例に—	博物館会議室	3月14日(土)			
		古文書講座—鳥取藩の古文書を楽しむ	博物館会議室	3月15日(日)	20		
		伯耆往来をあるく(下市~御来屋)	大山町内	3月20日(金)	20		
		古文書講座—鳥取藩の古文書を楽しむ	博物館会議室	3月22日(日)	20		
	03美術	計50件					
		ワークショップつくり隊企画 平成最後のふるまい茶会 4	博物館前庭	4月6日(土)	30	52	
		企画展ニューヨーク・アートシーン関連	博物館講堂	4月13日(土)	40	51	
		映画上映会「ニューヨークジャクソン・ハイツへようこそ」	博物館講堂	4月20日(土)	250	42	
		《特別講演会》「バクス・アメリカーナの夢と現実」	博物館講堂	4月27日(土)	250	34	

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績
		巨大こいのぼりをつくっちゃお!	倉吉未来中心ホワイエ	4月29日(月)		401
		らくがきばんざい!	博物館前庭	5月4日(土)		75
		アメリカ美術の勝利	博物館講堂	5月11日(土)	250	38
		企画展ニューヨーク・アートシーン関連	博物館展示室	5月18日(土)		44
		コレクション展「美術家大辞典 鳥取県立博物館版」おしゃべりアートツアー	博物館展示室	5月25日(土)	12	10
		コレクション展「美術家大辞典 鳥取県立博物館版」学芸員によるギャラリートーク	博物館展示室	6月1日(土)		6
		移動美術館 智頭展ギャラリートーク「岡村吉右衛門、生田和孝と、民藝運動の巨匠たち展」	石谷家住宅一号蔵展示室	6月8日(土)		9
		スペシャルアートシアター 2週連続上映 「顔たち、ところどころ」	博物館講堂	6月15日(土)	250	30
		スペシャルアートシアター 2週連続上映「顔たち、ところどころ」	博物館講堂	6月22日(土)	250	45
		ワークショップつくり隊によるワークショップ 窓辺のオブジェをつくろう!	博物館展示室	6月29日(土)	20	18
		若沖と江戸絵画 どうぶつたちの生きる力とユーモア	博物館講堂	7月6日(土)	250	8
		コレクション展「美術家大辞典—近世以前編」学芸員によるギャラリートーク	博物館展示室	7月13日(土)		3
		《スペシャルワークショップ》北斗座 舞踏—新しき年の始の舞 —失われた肉体と祖国を求めて	博物館会議室	7月20日(土)		42
		《夏休み企画「アートとの遭遇」展関連》「まいにち!ワークショップまつり」	博物館展示室	7月23日(火)~8月25日(日)		555
		《スペシャルワークショップ》キミはアートの目撃者 一作品を見ながら話してみよう!	博物館展示室	7月27日(土)	10	9
		《館外普及事業×伯耆しあわせの郷 連携ワークショップ》ピニールトンネルをつくっちゃお!	伯耆しあわせの郷(鳥取県倉吉市小田458)	8月3日(土)	50	11
		泥でアート!	博物館地下バックヤード	8月10日(土)		50
		スペシャルアートシアター「夜のとばりの物語」	博物館講堂	8月17日(土)	250	39
		ミュージアムサロン10 アートと未来と社会について 奥田英範×赤井あずみ	本の学校(米子市)	8月30日(金)		35
		コレクション展III 「美術家大辞典-近世以前編」学芸員によるギャラリートーク	博物館展示室	8月31日(土)		5
		アートの種まきプロジェクト フリーペーパーづくりにつつまるワークショップ	倉吉交流プラザ	9月7日(土)	24	24

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績
		2週連続スペシャルアートシアター「メットガラドレスをまとった美術館」	博物館講堂	9月7日(土)	250	31
		2週連続スペシャルアートシアター「メットガラドレスをまとった美術館」	博物館講堂	9月14日(土)	250	46
		手びねり体験 - オリジナルのお茶碗づくりに挑戦!	博物館会議室	9月28日(土)	15	10
		円山応挙 生を写し、気を描く(新・日曜美術館DVD)	博物館講堂	10月12日(土)	250	12
		「鳥取県立美術館ができるまで」を伝えるフリーペーパーづくり: 記事作成のための講座1 写真撮影編	博物館会議室	10月19日(土)		15
		《スペシャルギャラリートーク》コレクション展『美術家大辞典』「時代とともに語る鳥取美術」	博物館展示室	10月26日(土)		25
		らくがきばんざい! 秋編	博物館前庭	11月2日(土)		
		「美術館ができるまでを伝えるフリーペーパー(仮)」の発送作業と一緒にやってみませんか?	倉吉市内	11月9日(土)		
		《ギャラリートーク》企画展塩谷定好展関連	博物館展示室	11月16日(土)		
		《アートツアー》「塩谷定好の赤碕」を巡るツアー	塩谷定好写真記念館	11月23日(土)	20	
		《映画上映会》パリが愛した写真家ロベール・ドアノー〈永遠の3秒〉	博物館講堂	11月30日(土)	250	
		《特別講演会》塩谷定好とその時代	博物館講堂	12月7日(土)	250	
		《ギャラリートーク》企画展塩谷定好展関連	博物館展示室	12月14日(土)		
		捨てちゃうポスターでいろんなものをつくろう!	1階休憩スペース	12月21日(土)		
		ジュニア県展関連		1月11日(土)		
		未定	博物館講堂	1月18日(土)		
		《スペシャルギャラリートーク》國領経郎の思い出とともに	博物館展示室	1月25日(土)		
		《ギャラリートーク》企画展「生誕100年 國領経郎展」	博物館展示室	2月1日(土)		
		《スペシャルアートシアター》「砂の女」	博物館講堂	2月8日(土)	250	
		《ギャラリートーク》企画展「生誕100年 國領経郎展」	博物館展示室	2月15日(土)		
		《ワークショップ》カメラをもって、砂丘を歩く	博物館、鳥取砂丘	2月22日(土)	15	
		未定	博物館講堂	2月29日(土)		
		未定	博物館講堂	3月7日(土)		
		未定	博物館講堂	3月14日(土)	40	
		未定	博物館会議室	3月21日(土)		
		未定	博物館会議室	3月28日(土)		

6,673 8,117

平成30年度～令和元年度 TMN美術館等連携にかかる委員会・研修会等の開催実績と今後の計画(予定)

	開催年度	内容	期日	備考
1	平成30年度	デジタルアーカイブ整備調査関係・関連業者聞き取り(早稲田システム開発)	5月11日	当館対応:館長ほか3名
2		デジタルアーカイブ整備調査関係・関連業者聞き取り(チームラボ)	5月17日	当館対応:主幹学芸員1名
3		TMN美術館等協力連携推進委員会(仮称)専門部会準備会	6月1日	参加者:6名
4		TMN美術館等協力連携推進委員会(仮称)第1回委員会	6月29日	参加者:9名
5		TMN美術館等協力連携推進委員会第1回専門部会	8月24日	参加者:7名
6		TMN美術館等協力連携推進委員会第2回委員会	10月19日	参加者:8名
7		デジタルアーカイブ整備調査関係第1回検討会(講師:チームラボ)	10月23日	参加者:9名
8		デジタルアーカイブ整備調査関係第2回検討会(講師:早稲田システム開発)	10月26日	参加者:7名
9		外部講師による加盟館学芸員資質向上研修会その1 (テーマ「連携的デジタルアーカイブの整備にあたって ～運用までのプロセス、整備のポイント、課題～」、講師:千葉県立中央博物館 尾崎煙雄氏)	2月28日	参加者:22名
10		外部講師による加盟館学芸員資質向上研修会その2 (テーマ「戦略的展覧会広報のヒント ～なにを伝える、どう伝える～」、講師:グラフィックデザイナー 大溝裕氏)	3月8日	参加者:14名
11		TMN美術館等協力連携推進委員会第2回専門部会	3月28日	参加者:4名
12	令和元年度	TMN美術館等協力連携推進委員会第1回委員会	5月10日	参加者:7名
13		TMN美術館等協力連携推進委員会第1回専門部会	8月30日	参加者:10名
14		TMN美術館等協力連携推進委員会第2回委員会	10月16日	参加者:10名
15		TMN美術館等協力連携推進委員会第2回専門部会	11月26日	参加者:名
16		外部講師による加盟館学芸員資質向上研修会その1 (テーマ「デジタルアーカイブとは何か ～あらためて、その意義について」 講師:国士館大学 坂井知志氏)	12月12日	参加者:名
17		外部講師による加盟館学芸員資質向上研修会その2 (テーマ「実践! 対話型鑑賞(仮)」、講師:検討中)	2月	参加者:名
18		外部講師による加盟館学芸員資質向上研修会その3 (テーマ「武器の見方 ～甲冑を中心に」 講師:四国大学教授 須藤茂樹氏)	2～3月	参加者:名
19		TMN美術館等協力連携推進委員会第3回専門部会	3月	参加者:名

令和元年度博物館資料アドバイザー派遣事業実施状況

目的

博物館資料アドバイザー派遣事業は、鳥取県ミュージアム・ネットワーク(以下「T.M.N.」という。)に加盟する歴史民俗資料館等を対象に、平成29年度から、資料の保存活用機能を向上させる取組を助成し、もって県内の博物館等の連携基盤を確立してネットワークの強化を図ることを目的とする。

事業概要

T.M.N.が委嘱した「博物館資料アドバイザー」(以下「アドバイザー」という。)を、保存活用機能を向上させる取組を行う館(以下「取組館」という。)に派遣し、歴史・民俗資料の整理・保管・展示等の改善に関する助言・指導等を実施するとともに、アドバイザーの指導を受けた職員の管理の下、実際の整理・保管・展示等の業務を補助する者に要する経費を補助する事業

※1アドバイザー謝金 及び 業務補助者の報酬 は、県と取組館(町)が1/2ずつ負担する。

館名	今年度の目標・成果	アドバイザー名	今年度予定	
			予定回数	予定時間
北栄町北条歴史民俗資料館	【成果】 展示資料の保管等への助言 【目標】 ・民俗資料の移動・ラベル張り・台帳の保管のための助言・写真との照合。 ・考古資料の現状確認・ラベル張り・梱包・復元接合などの助言	日置桑左エ門	0	0
		小山富見男	6	20
		眞田 廣幸	7(1)	22(1)
		田村 達也	0	0
		計(a)	13	42
琴浦町歴史民俗資料館	【現在休止中】	眞田 廣幸	0	0
		小山富見男	0	0
		計(a)	0	0
日野町歴史民俗資料館	【目標】 ・民俗資料を収蔵庫等に整理して移動、資料群ごとの収納 ・古文書資料の目録カードの確認・目録作成を行う。現在、衣装ケース状の箱に収納されている資料の移動。	田村 達也	0	0
		小山富見男	14	56
		計(a)	14	56
江府町歴史民俗資料館	【目標】 歴史民俗資料の展示の前準備として、パネル等の作成・キャプションなどの改善を行う。所蔵資料の整理・保存のための助言を行う。	小山富見男	5	15
		眞田 廣幸	6	18
		計(a)	11	33
合計			38	131

()内は本年度実績

アドバイザー名簿

氏名	現所属・職、前職等	専門(年代等)	担当市町村
コヤマ フミオ 小山富見男	新鳥取県史編さん委員(現代部会長)、鳥取地域史研究会会長	近現代	北栄町、南部町、日野町、江府町
サナダ ヒロユキ 眞田 廣幸	倉吉博物館館長、倉吉市教育委員会文化財課長	仏教考古学	北栄町、南部町、日野町、江府町
タムラ タツヤ 田村 達也	鳥取県立公文書館専門員、鳥取県立図書館専門員、県立高校教諭	近現代	北栄町、日野町
ヒオキ クメザエモン 日置桑左エ門	新鳥取県史編さん専門委員	日本中世史(文書中心)	北栄町

企画展「鳥取画壇の祖 土方稲嶺 —明月来タリテ相照ラス—」図録の國華展覧会
図録賞受賞について

令和元年10月16日
博 物 館

- 当館が平成30年に開催した企画展「鳥取画壇の祖 土方稲嶺—明月来タリテ相照ラス—」の展覧会図録が第31回国華展覧会図録賞（主催：國華社・朝日新聞社）を受賞しました。
- 國華賞は明治22年に岡倉天心らによって創刊された雑誌『國華』の創刊100周年を記念して創設された賞であり、日本美術研究に関する最も権威ある賞として知られています。
- 第31回国華賞は根立研介氏（京都大学教授）を委員長とする12名の國華賞選考委員によって選考され、以下のとおり決定されました。

賞名	受賞者	対象となった業績	出版社	出版年
國華賞	奥 健夫	『仏教彫像の制作と受容 —平安時代を中心に—』	中央公論美術出版	令和元年
國華展覧会 図録賞	山下真由美	「鳥取画壇の祖 土方稲嶺 —明月来タリテ相照ラス—」	鳥取県立博物館	平成30年

- 授賞式は10月24日（木）に朝日新聞東京本社新館レセプションルームで開催されます。
- この展覧会は美術館連絡協議会の2018年美連協大賞「奨励賞」（美術館表彰）も受賞しており、ダブル受賞となりました。

【展覧会図録】

- ・2018年（平成30年）10月6日から11月11日まで鳥取県立博物館で開催した企画展「鳥取画壇の祖 土方稲嶺—明月来タリテ相照ラス—」の図録。
- ・土方稲嶺の作品を中心に125点をカラーで掲載し、全作品の作品解説及び落款の変遷の情報も加えた。



【朝日新聞 2019.10.4】



【展覧会の様子】

